令和6年度 第4回市政懇談会 事前要望等回答一覧(埼玉地区)

No.	意見・要望等	所管課	回 答
1	行田市に移住する方に対する 特典を手厚くしてほしい	企画政策課	本市では、移住された方への支援として、本年4月から移住した若者の就労初期における奨学金返還による経済負担の軽減を図るため、「奨学金返還支援金制度」を開始しております。 また、本市への移住・定住に関心がある方が加入することができる「住まいる行田会員制度」では、市と連携して移住定住促進に取り組んでいただいている移住定住パートナーズ登録事業者の店舗で会員カードを提示すると、買い物時の割引や公共施設の利用料の割引など、様々なサービスを受けることができます。 今後も、移住される方のニーズを把握するとともに、効果的な支援等について検討してまいりたいと存じます。
2	省エネ設備(エネファーム・ エコキュート・太陽光発電・蓄 電池等)設置の補助金を手厚く してほしい	環境課	近隣自治体において太陽光発電システムについて1kw当たり2万円程度(上限5~10万円)、蓄電池について補助対象経費の5%(上限5万円)または一律5万円などの補助を行っていることは承知しております。本市においても過去に同様の補助制度を設けておりましたが、初期の目的を達成したことから、廃止した経緯がございます。一方、省エネ設備設置による地球温暖化対策推進の効果はあると思われることから、引き続き調査研究してまいりたいと考えております。

No.	意見・要望等	所管課	回答
3	意見・要望寺 【高齢者の免許返納の促進について】 デマンドタクシーのチケットを1回500円だけでなく、複数枚使用できるように、20枚より多くしてほしい。	交通対策課	運転免許証自主返納者支援事業につきましては、運転免許証を自主的に返納された方への支援事業として平成29年度から実施しております。 令和3年度からは、一般社団法人埼玉県乗用自動車協会及び埼玉県個人タクシー協会に加盟している事業者で利用できる500円分のタクシー券を一人1回限りで20枚交付しており、行田市デマンドタクシーでも利用できるよう制度を見直しました。タクシー券につきましては、運転免許証返納後の当面の移動手段の確保のための交付と考えており、現時点では枚数の増加は考えておりませんが、令和7年1月を予定している乗合型AIオンデマンド交通の運行開始に合わせ、本制度のリニューアルも予定しております。 運転免許証の自主的な返納の動機付けとなるような制度への見直しに取り組むとともに、運転免許証の返納後も安心して生活できるような移動手段の確保に努めてまいります。

No.	意見・要望等	所管課	回答
4	【観光名所が少ない】 来ても1回きりで良いと思うところばかりである。古代蓮の里ももっと力を入れれば、観光客が増えるかもしれない。 (あしかがフラワーパークのように)	商工観光課 都市計画課	本市には、全国に誇れる観光資源が豊富にあり、多くの観光客が行田の魅力を体感しているものと認識しております。 市といたしましても、すばらしい観光資源を活用するとともに、何度も本市にお越しいただける観光誘客促進事業を進めていく必要があるものと考えております。 このことから、市では、一般社団法人行田おもてなし観光局と連携を図りながら、体験型観光ツアーや体験型観光コンテンツの造成に取り組んでおり、年間を通して観光できる環境を整備しているところです。 今後とも、一般社団法人行田おもてなし観光局をはじめとする観光関連団体等と連携を密にしながら、何度も訪れたくなる観光まちづくりに努めてまいります。 また、古代蓮の里公園は、春は梅・桜、夏は花蓮、秋は田んぼアート、冬はイルミネーションと四季を通じて楽しめる公園であると認識しております。 そうしたなかで、繰り返し市内・市外の皆様にご来園いただけるように、様々な工夫を凝らして、公園の魅力向上に繋がる取組みを実施するよう引続き指定管理者とともに、皆様に喜んでもらえる施設にしてまいりたいと存じます。
5	【さきたま火祭りについて】 運営を市として協力していただきたい。埼玉地区の高齢化が進み、準備も人手がなく大変である。	商工観光課	さきたま火祭りにつきましては、さきたま火祭り実行委員会をはじめとする埼玉地区の皆様のご尽力のもと開催していただいており、市といたしましても、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。 さきたま火祭りは、行田を代表するイベントとして市内外から大きな注目を集めるお祭りであり、来年度以降も開催していただきたいと考えております。 今後、さきたま火祭り実行委員会のご意見を踏まえながら、市として協力できることを検討してまいりたいと考えております。

No.	意見・要望等	所管課	回答
6	【自治会への行政負担について】 担い手不足をなくすためにも、自治会への行政負担を極力少なくする方向でお願いしたい。 回覧・配布物の削減はできないか。会議のスリム化をしてほしい。	地域活動推進課	自治会長をはじめとした自治会の皆様には、市行事への出席や地域における協力員等の推薦など、日頃から市行政に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。人口減少や少子高齢化の進行により、地域活動の停滞や役員の担い手不足が懸念されるなど、安定した自治会活動の継続と運営体制の確保が喫緊の課題となっている中、市が依頼している各種任意団体の人選の御労苦につきましては、市としても十分に認識しているところであります。また、自治会における回覧物のご労苦につきましては、市としても認識しており、年度ごとに自治会への配布文書を削減するよう庁内において指導し、自治会負担の軽減に努めているところでございます。現在、行田市自治会連合会では、理事の皆様を中心に、自治会推薦職の取扱いや自治会加入率等の問題の解決に向けた検討を進めており、市といたしましても、庁内の連携を図りながら、各機関の役職が過度な負担とならず、自治会が本来の自治組織としての役割を果たし、維持し続けられるよう、自治会連合会と連携しながら協議、検討してまいりたいと存じます。

No.	意見・要望等	所管課	回答
7	鴻巣地区と隣接する道路の拡 幅をお願いしたい	道路治水課	ご指摘の道路拡幅要望箇所は、国道17号熊谷バイパス野(北)交差点から西へ、県道上中森鴻巣線に至る本市と鴻巣市の行政界に沿った道路で、鴻巣市が維持管理を行っている鴻巣市道でございます。 当該道路の拡幅については、平成22年にも杉原自治会からご要望をいただいておりますが、鴻巣市道であることから行田市側へ拡幅することは困難なものと考えております。 このような状況の中、昨年度、埼玉地区の皆様から当該道路の拡幅について、鴻巣市へ要望書が提出されたと伺っております。 本市といたしましては、埼玉地区と旧吹上町を結ぶ利便性のある道路であると認識していることから、鴻巣市の動向を注視するとともに、今後とも鴻巣市との情報共有を図ってまいりたいと存じます。
8	【避難場所について】 災害時、特に水害の場合、学 校までは行けないので、渡柳の 場合はやなぎ幼稚園に逃げ込め るように、避難所として協定し ていただきたい。	危機管理課	現在市では、災害対策基本法施行令に示された基準に合致する公共施設を指定避難所として指定しており、これらの施設については特定の地区だけでなく広く一般の方を受け入れることを前提としております。 また、指定避難所では、避難者の皆様が安心して過ごせるよう設備や物資供給などが容易な施設として公共施設を選定しており、現在のところ特定の地区に向けた避難所として民間企業の施設を指定避難所とする考えはございません。 一方、地区によっては地元企業と独自に協定を締結し、地区の避難所として活用している事例もございますのでご検討いただければと存じます。 なお、実災害発生時には、指定外避難所であっても、在宅避難の方と同様に市が物資供給いたしますので、物資が必要な場合は、ご連絡いただきたく存じます。

No.	意見・要望等	所管課	回答
9	【災害時が利用できる避難場所について】 2階以上が利用できな中事ののできるののです。 2階以上が利用できないです。 2階以上が利力に対して、近週では、近週では、一次ののでは、でののでは、でののでは、でののでは、でののでは、でののでは、でののでは、でののででは、でのでででは、でのでででででででで	危機管理課 教育総務課	各避難所のエレベーター及び多目的トイレ設置状況につきましては、別添の資料をご参照ください。 小中学校つきましては、校舎内には多目的トイレの設置はございません。屋内運動場(体育館)に多目的トイレを設置している学校は、東小学校、忍小学校、北小学校、見沼小学校、泉小学校、南河原小学校、行田中学校、埼玉中学校、太田中学校、南河原中学校の全10校です。なお、忍小学校、忍中学校の校舎には「いす式階段昇降機」やスロープ、トイレブースの一部に手摺りを設置するなど、車椅子を利用する児童生徒に配慮した施設整備を行っております。 また、各避難所の収容状況が分かるシステムとして、「避難所開設状況確認アプリ」を令和4年から試行しており、市報ぎょうだ令和4年5月号で周知したところです。アプリは、避難所の開設状況や混雑度が確認できるものとなっておりますので、下記QRコードよりご利用いただければと存じます。 要配慮者の避難を支援する体制は、各自治会や自主防災組織、また地元の社会福祉施設等によって異なるものかと存じますので、地域の実状に合わせた訓練を行う必要があると考えております。昨年度に太田地区において、自治会や地元社会福祉施設、民生委員などを中心に市も協力して、要配慮者を対象とした避難訓練及び避難所の開設訓練を実施しました。市といたしましても、地域でこうした訓練の実施については、自助・共助の取組みに有意義であると考えておりますので、自主防災組織に対し、実施を促すとともに、実施の際は、協力等を行ってまいります。

No.	意見・要望等	所管課	回答
10	【市内循環バスの再編及びAIオンデマンド交通について】 平成6年度末より東循環バス等が廃止され令和7年度よりAI オンデマンドバスが導入されようとしている。赤字路線と言えども定期的に利用している人もいると思うのでその路線の地域の人たちには丁寧な説明をお願いしたい。	交通対策課	ご指摘の東循環コースを含む市内循環バスの3つの路線については、令和7年1月より運行開始を予定しております乗合型AIオンデマンド交通の導入後の令和7年3月末をもって、運行を終了する方向で調整を進めております。乗合型AIオンデマンド交通は、市民の方であれば年齢や障害の有無にかかわらずご利用いただける予定としており、この新たな交通システムの導入により、どなたも移動しやすく、利用者の皆様に喜ばれる地域公共交通の構築を目指しております。この乗合型AIオンデマンド交通につきましては、現在、詳細を検討中となっておりますが、より多くの市民の皆様にご利用いただけるよう、地域の皆様へご説明させていただく予定としております。詳細が決まり次第、市報ぎょうだ等でご案内いたしますので、今しばらくお待ちいただければと存じます。